

潤

うるおい

2006年
4月1日発行

No.
24



(財)潤和リハビリテーション振興財団

潤和会記念病院

病院長 呉屋 朝和

〒880-2112 宮崎市大字小松1119番地

TEL0985-47-5555 FAX0985-47-8558

<http://www.junwakai.com>

変革

事務長 伊藤 薫



37年という長い間流通業に身を置いていた私が平成17年6月1日より当院にお世話になることになりました。60歳を前にしての転職は「宮崎の消費者の皆様のためにイオンモールを誘致する。」という8年間の取り組みに目処がついたからです。「常に何かに挑戦したい。」という私の考え方によるものです。

挑戦できる訳は医療業界は今後大きな変革が予想される数少ない業界であり挑戦しがいのある魅力ある分野と考えたからです。

日本の経済はバブル崩壊後グローバル化や規制緩和、中国経済の躍進、少子高齢化等を背景に低成長からデフレ経済へ大きく変貌しました。その中で産業界では淘汰が進み、昨今では再び経済は成長基調となりデフレ脱却が論議されています。

しかしながら我々が属する医療の業界においてはこの大きな変革の蚊帳の外にあったといっても過言ではありません。統制下における許認可制度は両刃の剣です。業界を保護する一方で発展を阻害します。医療業界は数少なくなった統制と保護の産業です。

小泉政権は日本国の構造改革の柱に医療費を中心とした社会保障費の抑制を挙げています。平成18年度はまさに医療改革元年と位置づけられるような医療・介護の報酬改定が断行されようとしています。今後予想されるのは更なる報酬の削減と規制緩和であることは間違いありません。

かつて私が所属していた流通業界の規制緩和による例で見えますと酒類販売や薬販売の規制緩和により街の酒屋さんや薬屋さんはすっかり数が減少し大型店や郊外店、ディスカウント店や専門店が主流となりま

した。淘汰が進んだ結果です。規制により保護されてきた業界ほどその恵まれた環境に安住し競争力を失っており、新たな参入者に苦もなく淘汰されたのです。もっと大きな規模でいうと、規制緩和により大型店の出店を規制していた大規模小売店舗法が撤廃されたあとの小売業では、かつて繁栄を極めた中心市街地の商店街は規制の保護の下でその競争力を失ってしまい、郊外店の進出とともに空洞化の一途をたどっています。

我々の医療業界においても、他産業とはスピードや程度の差はあっても確実に報酬削減と規制緩和の道を進んでいくことが想定されます。少子高齢化や財政難の日本の現状を考えると当然の流れです。しかしながら医療業界には追い風が吹いている魅力ある産業であることには変わりはありません。高齢化が進むなか毎年1兆円規模でマーケットが拡大しているという産業は他にあまり例がありません。株式会社参入論が出てくる等の魅力ある産業なのです。

潤和会記念病院は地域の皆様に継続して質の高い医療を提供していく責任があります。そのためには厳しくなる病院の経営環境を乗り越えていく取り組みが必要となります。現制度のなかで今までと同じことをしていれば報酬の減額の影響を受けて病院の収入は減ります。単なる収入減は収益を悪化させ病院経営の継続が難しくなりかねません。変革とは過去の常識や成功例を否定することから始まります。変化に対応し記念病院が地域の中核病院として将来にわたって質の高い医療を提供し続けるために我々は今過去の決別をする「意識改革」が求められています。

脳とリハビリと水害と

脳神経外科 有川 章 治

今回私が最近呼んだ本の内容に関連したお話をしましょう。

当院は財団法人で正式名称は「潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院」といいます。名前通りリハビリを主体に治療を行ってきた歴史があります。リハビリ学院も併設され毎年多くの理学療法士（PT）の方々が卒業し当院にも就職し活躍しています。

リハビリテーションrehabilitationとは元来、re=again（再び）、habilitate=To make able（可能にする）という意味です。健常な行動の出来ない人を訓練して筋肉を動かすことにより、失った機能を再学習させ人間らしく生きる権利を回復させる、と考えられてきました。しかし、今やそれは「失った機能の再学習」ではなく、「新しく神経回路を作る技能学習」となっています。

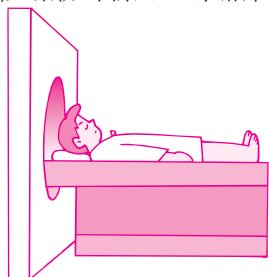
脳卒中で脳にダメージを受け手足に麻痺が起きても、適切なリハビリテーションを行えば、脳に新しい神経回路が出来て手足はまた動かせるようになります。最近の脳研究でそのメカニズムがはっきりとわかってきました。これは脳に可塑性（状況に応じて役割を柔軟に変えるという性質）があるからです。

今から約10年前にアメリカの学者がリスザルを使った実験でそれを実証しました。リスザルの脳に人工的な脳梗塞を作り、それにより手の指に麻痺を起こし、その後麻痺した指を動かさざるをえなくなるような強力な訓練をさせたところ指の機能が回復したという

ものでした。さらに詳しく調べたところ、この脳梗塞により指を動かす指令を発する神経細胞が死んでしましますが、訓練させるうちに、その神経細胞のとなりにある、通常は手首を動かす指令を発する神経細胞が指を動かす指令をも発するようになつたのが判明しました。

これは誰もが予想しなかった変化が脳に起こっているという大発見でした。

脳は非常に柔軟に出来ていて、麻痺した筋肉



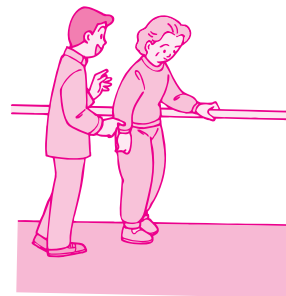
を動かすことでそれが治療になること、その背景には脳の運動学習のメカニズムが潜んでいることがわかったのです。また、脳梗塞に陥った神経細胞の周囲にはまだ完全に死んでいない部分があり、そこを助けることで麻痺の進行や新たな症状の発現を防ぐことが出来ることが判ってきました。

これらの研究の成果は、すぐに脳梗塞の患者さんへの応用が研究され、数年後には新しい有効な治療法が開発されました。現在、患者さん方が受けている点滴やリハビリ療法がそれです。

発症後の様々な治療にも関わらず、脳に損傷

が残ってしまうと、その部分は残念ながら再生しません。しかし、脳の中のそれぞれの神経同士は直列に繋がっているわけではなく複雑なネットワークを形成しているため、一カ所が壊れてもそれを補う事が出来る仕組みがあります。つまり、損傷部位の周り或いはもっと離れた部分の神経が上手にネットワークを形成し、その部分が従来司っていた機能を新しく持つようになれば、機能回復が得られるはず。これを機能的再構成と呼びます。このように、脳の仕組みに着目して機能回復を促進しようという考え方が次第に定着しつつあります。このような立場に立ったリハビリテーションは従来のリハビリテーションに神経という意味の「ニューロ」を付けてニューロ・リハビリテーション（神経リハビリテーション）と呼ばれています。

ポジトロン断層撮影（PET）や機能的核磁気共鳴装置（fMRI）という検査機器を用いて健常者と片麻痺が治った患者さんの手を動かした時の脳の活動を調べた検査報告があり



ます。それによると患者さんの方が、脳の働いている部分が増加していることがわかりました。つまり、一見同様の動きをしているようでも麻痺から回復した患者さんでは健常者に比べて動員される神経ネットワークが増加していると考えられます。同様の結果は言語

障害の回復過程でもみられたそうです。しかし年齢的な限界はあるようです。

どうですか！凄いですよね！脳って！

今まで回復は全く困難だと思われていた脳の働きは（壊れてしまった脳それ自身の回復は難しいのですが）、残った脳の助けを借りて再生してくるのです。



どこかで経験した事ですね～？

そうです昨年、当病院が被災した台風14号による水害です！

復旧は困難かと思われましたが、近所の方（いやいや遠方からも来て下さいました）・学生さんなどのボランティアの方々、薬品会社や卸屋さんなど常日頃からお世話になっているの方々などの御協力により奇跡的に約1ヶ月という短期間で何とか復興致しました。当然、職員も一生懸命に頑張りました。現在、こうやって病院がやっつけられるのも本当に皆さんの御蔭なのです。

神経ネットワークの様に皆が手を取り合って力を合わせれば、不可能と思われたことも可能となることを痛感させられました。

リハビリテーションを日々頑張っておられる患者さんの背中を見つめながら、そういう考えに浸る今日この頃です。

One for all、All for one（一人はみんなのために、みんなは一人のために）

～元ラガーマンより～



記念病院 理念

「人間愛」

記念病院 基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重し、患者様の立場に立った医療を提供します。
2. 地域の中核的病院として、専門的且つ高度な医療を実践します。
3. チーム医療を推進し、より良い医療を目指します。
4. 豊かな人間性を兼ね備えた医療人を育成します。
5. 職員が意欲を持って働ける職場環境を作ります。

もう一つお風呂に入れて緑茶風呂はいかがでしょうか。ガーゼ等で作った袋にお茶がらを入れて、湯船に浮かべれば、美肌効果があるそうです。まだまだお茶がらの活用法があるようですが、皆様も試してみられてはどうでしょうか。結果をまたお聞かせくださいませ。このお茶がら活用法は、メモリードグループが発行されている「ありがとう」冊子より引用させていただきます。

①拭き掃除の代りに、おばあちゃまの時代には常識だったようです。畳の上に湿ったままのお茶がらをばらまいて、ほうきで掃けば、お茶がらがほこりを吸い寄せてくれるんです。一度試してみてください。

②脱臭剤として、お茶がらを乾燥させて、脱臭剤に。ガーゼで作った袋やお茶のパックなどに詰めて、食器棚や下駄箱に、使い古しのストッキングなどに入れて、靴の脱臭剤に使えば雑菌の繁殖も抑えてくれます。

③お茶がらを電子レンジへ、お茶がらの水気をとって、耐熱皿に入れ、電子レンジでチン。1分程度の加熱で嫌な臭いがなくなるそうです。

「お茶がら活用法」

私たち日本人にとって、お茶は欠かせない飲み物です。美味しいお茶を飲み、そのまま茶がらは、生ゴミへ。もつたいないですよね。捨てる前にもうひと働きしてもらいましょう。

あ
と
が
き

